

授業科目 対人コミュニケーション論

【担当教員名】 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会（介護福祉コースを除く）・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【概要・一般目標：G10】
対人コミュニケーションの理論を学ぶことで、他者との関わりにおける人間の社会的行為について理解を深める。日常的な場面を理論に照らし合わせながら、自己理解、他者理解についての学びを深め、実社会での対人コミュニケーションに応用しようとする意欲を高める。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 対人コミュニケーションの理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. コミュニケーションの基礎力をつけ、実践しようとする
4. より良い人間関係形成のための素養を高める

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション：「コミュニケーション」とは	1, 2, 3, 4	
2	言語・非言語コミュニケーション	1, 2, 3, 4	
3	自己理解と他者理解	1, 2, 3, 4	
4	説得と納得	1, 2, 3, 4	
5	対人関係形成のプロセス	1, 2, 3, 4	
6	誤解・衝突	1, 2, 3, 4	
7	社会の変化が対人関係に与える影響	1, 2, 3, 4	
8	まとめ	1, 2, 3, 4	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	授業中、適宜紹介する			
その他の資料	ハンドアウト 適宜配布 授業で使ったパワーポイント 授業終了後にポータルサイトから各自ダウンロード			

【評価方法】 毎回の授業でのコメントシート 15%、レポート試験 70%、発言等による授業への積極的な参加 15%	【履修上の留意点】 講義形式ではあるが、意見や感想、質問などを求める。 積極的に授業に関わる姿勢を高く評価する。
--	--